



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 恵本 司
 (氏名) 八巻 唯史
 TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,643	0.3	1,191	210.7	1,421	131.5	983	102.2
2019年3月期第2四半期	27,564	△0.4	383	△74.8	613	△65.7	486	△58.1

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 △794百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 201百万円 (△79.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	69.29	—
2019年3月期第2四半期	34.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	91,410	67,531	73.9	4,754.55
2019年3月期	98,302	69,438	70.6	4,892.67

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 67,531百万円 2019年3月期 69,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	0.0	1,500	△4.9	1,800	△11.7	1,200	△9.4	84.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	15,325,642 株	2019年3月期	15,325,642 株
2020年3月期2Q	1,122,179 株	2019年3月期	1,133,381 株
2020年3月期2Q	14,195,426 株	2019年3月期2Q	14,179,550 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いている中、個人消費もゆるやかに持ち直しており、企業収益も改善傾向で推移しております。しかし、消費税が本年10月から引き上げになり、台風などの自然災害が続き、輸出も弱含みに推移しており、経済への影響が懸念されております。海外経済はアメリカの景気が回復し、ユーロ圏の景気もゆるやかに回復しておりますが、米中貿易摩擦やイギリスのEU離脱などの不安定要素が増しており、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や安価な加糖調製品・異性化糖・高甘味度人工甘味料の増加などにより国内の砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.3%増の27,643百万円となり、経常利益は、砂糖事業及び農業資材事業の増益等により、前年同期比131.5%増の1,421百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比102.2%増の983百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初12.67セントで始まり、5月には主要国ブラジルの増産見込みやレアル安に伴う輸出増への懸念から11.55セントまで下落しましたが、6月にはトウモロコシ価格の上昇から米国のバイオエタノール生産が抑制され、ブラジル産エタノールの需要が増えるとの観測から、12.75セントまで上昇しました。その後、9月には主要国であるインドやタイの砂糖生産量予測が上方修正されたこと等により、10.76セントまで下落しましたが、新砂糖年度の世界市場が供給不足に陥るとの見通しが下支えとなり、11.92セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初187円～188円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、前年同期に比べ国内砂糖市況の影響により販売価格は下落しましたが、販売量の増加により、売上高は前年同期並となりました。

精糖は、販売量は若干増加しましたが、国内砂糖市況の影響による販売価格の下落により、売上高は前年同期並となりました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比0.2%減の19,504百万円となり、販売量の増加及びコスト削減等により、737百万円のセグメント利益(前年同期は28百万円のセグメント損失)となりました。

<食品事業>

イーストは、売上高はほぼ前年同期並でしたが、製造費の減少等により、損益はやや改善しました。

オリゴ糖等食品素材は、ベタインなどの販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比13.1%減の1,132百万円となり、22百万円のセグメント損失(前年同期は8百万円のセグメント損失)となりました。

<飼料事業>

配合飼料は、販売量の増加により、売上高は前年同期を上回りました。

ビートパルプは、販売量が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比0.7%増の3,949百万円となりましたが、販売費の増加等により、26百万円のセグメント損失(前年同期は21百万円のセグメント利益)となりました。

<農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、ビート用紙筒の出荷時期の前倒しにより、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、前年同期の売上が好調だった反動により、売上高は前年同期を下回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比18.8%増の1,689百万円となり、セグメント利益は、前年同期比185.3%増の156百万円となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、昨年度に賃貸を開始した物件の寄与により、前年同期比 2.3%増の 764 百万円となり、セグメント利益は、前年同期比 4.0%増の 425 百万円となりました。

<その他>

その他のセグメントの売上高は石油類の販売減少等により前年同期比 4.8%減の 603 百万円となり、125 百万円のセグメント損失（前年同期は 114 百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 6,891 百万円減の 91,410 百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比 4,758 百万円減の 40,642 百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の下落により前連結会計年度末比 2,132 百万円減の 50,768 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 4,984 百万円減の 23,879 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 4,070 百万円減の 12,475 百万円となり、固定負債は、主にその他に含まれる繰延税金負債の減少により前連結会計年度末比 914 百万円減の 11,403 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末比 1,907 百万円減の 67,531 百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、12,580 百万円の収入となり、前年同期に比べ、703 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に売上債権の増加で 847 百万円、法人税等支払額の増加で 373 百万円、その他流動資産の増加で 335 百万円の資金の減少となったものの、たな卸資産の減少で 1,650 百万円、税金等調整前四半期純利益の増加で 703 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,030 百万円の支出となり、前年同期に比べ、249 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に有価証券の収支差による支出で 500 百万円の資金の減少となったものの、定期預金の収支差による収入で 600 百万円、有形固定資産の取得による支出額の減少で 288 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、8,726 百万円の支出となり、前年同期に比べ、1,543 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に短期借入金の返済による支出の減少で 2,000 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 402 百万円増加し、11,308 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020 年 3 月期の業績予想につきましては、2019 年 5 月 10 日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,485	5,308
受取手形及び売掛金	7,398	7,661
有価証券	5,000	7,500
商品及び製品	22,585	8,707
仕掛品	1,736	272
原材料及び貯蔵品	2,747	4,039
その他	1,449	7,153
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	45,401	40,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,075	11,857
その他（純額）	12,845	13,367
有形固定資産合計	24,921	25,225
無形固定資産		
	326	382
投資その他の資産		
投資有価証券	26,093	23,570
退職給付に係る資産	1,097	1,125
その他	471	474
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	27,652	25,160
固定資産合計	52,900	50,768
資産合計	98,302	91,410

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,075	1,078
短期借入金	9,749	2,056
未払法人税等	506	496
その他	5,214	8,845
流動負債合計	16,546	12,475
固定負債		
長期借入金	218	301
役員退職慰労引当金	16	18
退職給付に係る負債	4,861	4,734
その他	7,220	6,349
固定負債合計	12,317	11,403
負債合計	28,864	23,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,420	8,420
利益剰余金	42,525	42,373
自己株式	△2,349	△2,326
株主資本合計	56,875	56,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,411	10,652
繰延ヘッジ損益	0	△3
退職給付に係る調整累計額	150	134
その他の包括利益累計額合計	12,562	10,783
純資産合計	69,438	67,531
負債純資産合計	98,302	91,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	27,564	27,643
売上原価	20,498	19,572
売上総利益	7,066	8,070
販売費及び一般管理費		
販売費	5,186	5,341
一般管理費	1,496	1,537
販売費及び一般管理費合計	6,683	6,879
営業利益	383	1,191
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	269	280
持分法による投資利益	13	12
その他	45	32
営業外収益合計	331	327
営業外費用		
支払利息	47	40
固定資産処分損	36	34
その他	16	21
営業外費用合計	100	97
経常利益	613	1,421
特別利益		
固定資産売却益	122	31
投資有価証券売却益	6	-
特別利益合計	128	31
特別損失		
固定資産処分損	23	29
その他	-	0
特別損失合計	23	29
税金等調整前四半期純利益	719	1,422
法人税等	233	439
四半期純利益	486	983
親会社株主に帰属する四半期純利益	486	983

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	486	983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	△1,758
繰延ヘッジ損益	9	△3
退職給付に係る調整額	△25	△16
その他の包括利益合計	△285	△1,778
四半期包括利益	201	△794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201	△794
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	719	1,422
減価償却費	1,214	1,088
持分法による投資損益 (△は益)	△13	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	△127
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△80	△51
受取利息及び受取配当金	△272	△282
支払利息	47	40
有形固定資産売却損益 (△は益)	△125	△31
有形固定資産除却損	26	16
売上債権の増減額 (△は増加)	585	△262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12,398	14,049
前払費用の増減額 (△は増加)	△72	△150
未収入金の増減額 (△は増加)	441	374
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△5,614	△5,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	△249	3
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15	△155
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,727	2,821
その他	△56	△10
小計	11,727	12,782
利息及び配当金の受取額	272	282
利息の支払額	△65	△53
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△56	△430
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,877	12,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△610
定期預金の払戻による収入	—	610
有価証券の取得による支出	△3,500	△1,500
有価証券の売却及び償還による収入	2,500	—
有形固定資産の取得による支出	△1,209	△920
有形固定資産の売却による収入	526	545
貸付けによる支出	△23	△15
預り保証金の返還による支出	△89	△91
その他	115	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,280	△2,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,920	1,920
短期借入金の返済による支出	△11,620	△9,620
長期借入れによる収入	130	160
長期借入金の返済による支出	△70	△70
配当金の支払額	△704	△1,130
自己株式の売却による収入	84	24
その他	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,269	△8,726
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△672	1,823
現金及び現金同等物の期首残高	11,578	9,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,905	11,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,536	1,303	3,921	1,422	746	26,930	634	27,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	83	16	8	25	58	192	2,975	3,167
計	19,619	1,320	3,929	1,447	805	27,123	3,609	30,732
セグメント利益 又は損失(△)	△28	△8	21	54	409	448	△114	334

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	448
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△114
セグメント間取引消去	48
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	383

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,504	1,132	3,949	1,689	764	27,039	603	27,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	90	14	7	13	58	184	2,271	2,455
計	19,594	1,147	3,956	1,703	822	27,223	2,875	30,099
セグメント利益 又は損失(△)	737	△22	△26	156	425	1,269	△125	1,143

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,269
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△125
セグメント間取引消去	47
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,191